

近江八幡

(滋賀県近江八幡市)

注目ポイント！

- 八幡堀を中心とした観光名所として多くの観光客を誘致。
- 全国で初めて『重要文化的景観』に選定された近江八幡の水郷地帯。
- 歴史と文化、自然と景観を子孫に受け継ぐまちづくりの推進。



昭和40年代には年間5万人程度であった観光客数が、現在では240万人超え！



水郷風景

コラム

『重要文化的景観・近江の水郷』

「美しい風景」- それは住む人の心のよりどころであり市民みんなの財産である。

その美しい風景を、市民みんなで守り再生していこうと、国の景観法に基づく「風景づくり条例」や「風景計画」を日本で初めてつくり、その最初の成果として、国選定の重要文化的景観の第一号に「近江八幡の水郷」が選ばれた。

これまでの経緯

- 昭和47年(1972)～ 八幡堀(八幡川)の修景保存が全国に先駆け始まる。
昭和50年(1975) 「よみがえる近江八幡の会」設立。
昭和57年(1982)～
昭和60年(1985) 八幡堀修景水緑都市モデル地区整備事業
昭和61年(1986) 景観条例に基づき修景護岸整備する。
昭和63年(1988) 「伝統的建造物群保存地区保存条例」を制定する。
平成 3年(1991) 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定される。
平成 7年(1995) 八幡川水環境改善緊急行動計画策定。
平成15年(2003) 八幡堀水質浄化ネットワークを設立する。
平成17年(2005) 近江八幡市風景づくり条例を制定する。
近江八幡市風景計画(水郷風景計画編)を決定する。
「八幡堀」が手づくり郷土賞(大賞部門)を受賞する。
平成18年(2006) 国の重要文化的景観の第一号に選定される。

八幡堀の整備

八幡山城下町の自由商業都市を目指し琵琶湖と結ぶ運河として作られた八幡堀は、近江商人の湖上輸送路としても重要な役割を担っていた。その役割も終え、埋設計画があった時、「堀は埋められた瞬間から後悔する」を合言葉に市民団体が保存再生運動を展開。その後も自治会や各種団体が清掃活動等に取り組み、八幡堀は往時の風情を取り戻した。



八幡堀風景



八幡堀たそがれコンサート

八幡堀たそがれコンサート

「八幡堀」を舞台とする「たそがれコンサート」は、青年会議所が中心になって平成4年から開催。

平成8年からは、近江八幡観光物産協会が主催、若者中心で構成される「近江八幡わっしょいクラブ」が企画運営を担当。水上に設けられたステージや、水郷めぐりで使用される小舟から奏でられる様々な楽器の音色や歌声が堀端に響き渡る。

左義長まつり

織田信長が安土城下で盛大に繰り広げ、自ら異粧華美な姿で踊り出たと「信長公記」にも記された天下の奇祭。13基の左義長は、女装した若衆たちかけ声も勇ましく、町内を練り歩き、翌日の夜には次奉火される。

左義長の「だし」と呼ばれる毎年の干支にちなんだ意匠を凝らし、経費を惜しまず時間をかけ、各町の人々が誇りをかけて制作している。



左義長まつり

清掃活動

琵琶湖八景のひとつである水郷一帯は水を浄化するヨシが群生し、多くの生物の産卵や育成などの面で重要な役割を果たしている。

水郷めぐりで知られる観光だけでなく、環境の面からも貴重な存在。この水郷の自然と風景を守ろうと各団体が清掃活動に取り組むことで、重要文化的景観選定へとつながった。



八幡堀の清掃活動

問い合わせ先

- (社)近江八幡観光物産協会
Tel : 0748-32-7003 <http://www.omi8.com>
- 近江八幡市産業経済部商工環境課
Tel : 0748-36-5517